

2011 **米**
11月号

原水協通信
BULLETIN OF THE JAPAN COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

原水爆禁止日本協議会
発行人 安井正和
毎月1回 6日発行
頒価 220円
電話(03)5842-6031
FAX(03)5842-6033
http://www.antiatom.org/
Email:antiatom55@hotmail.com
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4



[編集] 原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 Tel (06) 6765-2552 FAX [06] 6765-2837

2011年国連軍縮週間のつどい

原爆被害が最大に 現れるのは2020年

郷地秀夫 東神戸診療所長が講演で指摘

10月29日、大阪市立社会福祉センターに50人の皆さんに参加していただきました。

かわさきゆたかさんの平和の歌メドレーで開幕。続いて2011原水爆禁止世界大会のDVDを鑑賞し「核兵器のない世界へ」の確信を深め合いました。

「被爆者医療から見た原発事故」と題して郷地先生に記念講演をしていただきました。先生は79枚のパワーポイントを駆使して「情報コントロールされてきた福島原発事故・放射線被害の実相」を明らかにされ、最後に原爆被害が2020年に最大に現れると指摘。放射線被害は何年も後にやってくることを強調されました。



核兵器禁止条約の交渉を!

—国連軍縮週間をエネルギーに展開—

日本原水協は国連軍縮週間に合わせて、10月25日、26日の両日に日本政府や厚労省、各国大使館に要請行動を行いました。日本政府には、「核禁止条約の提案、核密約破棄、非核三原則遵守、核の傘からの離脱」を要請。対応した外務省・中野政務次官は、「今まで通り平和施策を遂行していく」と通り一遍の回答。厚労省では、「2009年の8・6合意を尊重します」と実態にそぐわない回答が返されました。

一方の要請団は、核保有国、新アジェンダ連合加盟国、非同盟諸国の15カ国の大使館を訪問しました。非同盟諸国の中南米の国々の大使・公使・一等書記官は、好感を持って要請団を迎え、「要請の趣旨を100%支持します」の発言が続きました。

二日目の26日午後、衆議院第2議員会館内でパネル討論「核兵器禁止、公正な世界を—市民社会の役割」が開催



され、今、核兵器禁止条約の交渉が大きな国際世論になっていることが、各パネラーから強調されました。

この二日間の行動には、大阪原水協から小松事務局長が参加しました。

2011年 日本平和大会 in 沖縄

とき 11月25日(金)~27日(日) ※ 申込締切日 11月7日(月)
米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本を!



2012年 関西原水協学校

とき 1月21日(土)14時~22日(日)12時まで

ところ かんぽの宿 奈良

(奈良市二条町3-9-1 Tel 0742-33-2351)

日程 1月21日(土)

13時30分 受付開始

14時~ 講義「核兵器のない世界の実現をめざして」講師 富田宏治さん

15時30分~ 講義「原爆症認定訴訟問題の現状と課題」講師 愛須勝也さん

18時~夕食交流会

10時~講義「2012年の原水爆禁止運動の展望と課題」講師 高草木博さん

1月22日(日)

参加費 全日程参加は15000円(受講料、宿泊費、夕食・朝食代、会場費)

※ 参加申込みは、1月15日までに大阪原水協まで

原爆症認定集団訴訟 (当面の日程)

全て大阪地裁ですが、裁判内容によって法廷が変わりますのでご注意ください。

◎11月29日(火) 午前11時30分~12時 806号法廷

新・却下取り消し訴訟(第7回)

◎12月14日(水) 午前10時30分~11時30分 202号法廷

義務付け訴訟

◎12月21日(水) 午後1時10分~ 202号法廷

集団訴訟取り消し第3次判決日

◎1月26日(木) 午後4時

806号法廷

新・却下取り消し訴訟(第8回)

大震災・津波被害者救援に全力を—福島原発事故の放射能被害者救済を最優先に一原水協は訴えます!

6・9行動

<大阪原水協は>

11/9(水) 昼休み12時15分~上六・近鉄前

ホームページをリニューアルしました。「大阪原水協」検索でOKです。